

# 教室だより

佐渡市立金井小学校  
佐渡ことば・こころの教室  
平成21年10月28日  
第750号

〒952-1209 佐渡市千種155  
Tel: 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX: 4117  
<http://www.kanai-es.ed.jp> E-mail: kanai-es@sado.ed.jp



今から三千年ほど前にハレー彗星が残していったちりがオリオン座流星群となり、私たちに美しい流れ星を楽しませてくれました。40年前に始まったことばの教室が大勢の皆様を支えられ、記念式典と講演会を無事終えることができました。伝統を大切にしながら新しい輝きを保ち続けられるよう、職員一同心新たに頑張っています。

## 「キレイない」「メゲない」土台を作る

中央児童相談所  
馬場 菜緒

「自分なんて」「生きていても仕方がない」相談の中でそんな言葉を聞くことがあります。自尊心の低い状態といえます。自尊心が低いとちょっとしたことで挫折しやすくなったり、キレてしまったりします。自暴自棄になり犯罪の一線を越えてしまうこともあります。自尊心はもって生まれた性格もありますが、親からの影響が大きいです。子どもは親が自分のことをどう見ているかで自分自身の価値を押し量っています。

「何回同じことを言わせるの?」「あんたのことなんてもう知らない」「あなたなんて産むんじゃなかった」本意でないにしても、親の言葉掛けが感情的で極端、それが日常的に繰り返されると子どもの自尊心は育ちません。自分はだめだ、価値が低いんだと思ってしまうのです。反対に、自分に価値を感じ、誇りも生まれると「みんなの信頼は裏切れない」「恥ずかしいことはできないな」と思います。また自分に自信をもつことで、価値観の異なる他人に対しても寛大になり、豊かな人間関係を築けます。そして、大抵のことはどうにか乗り越えていけるのです。

小さな自信を大きく育てたいものです。

## 更なる節目を目指して

10月17日、佐渡ことば・こころの教室開設40周年記念式典及び記念講演会が行われ、盛大なうちに無事終了しました。

大リーグの記録をいくつも塗り替えているイチロー選手は「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところに行く、ただ一つの道」と言っています。昭和45年に開設された教室。昭和46年に発足した親の会。共に、当時に示された方向に向かい、一步一步確実に歩んできました。そして、今回の教室開設40周年という節目に到達いたしました。40周年記念式典・記念講演会に関しては、準備段階から多くの方からの御支援・御協力がありました。先輩の担当者、親の会会員OBの積み重ねてくださったもの大きさを実感し、改めて感動しております。次の節目は50周年です。多少の変化はあるでしょうが、原点からそれず、更なる着実な歩みを続けていきたいと思えます。

最後に、今回の記念式典・記念講演会にかかわってくださったすべての皆様に厚く御礼申し上げます。何より、遠路はるばる佐渡までお出でくださり、素晴らしい御講演をしてくださった講師の中川信子先生、本当にありがとうございました。(中村)



# ことばの教室担当教員の役割は

～全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会  
夏季全国研修会「はじめのいっぽ」に参加して～

この研修会には、ことばやきこえの教室を担当して2年目までの教員が全国から集まります。北は北海道から南は九州まで、全国に自分と同じような立場で頑張っている人たちがいることを知り、励みになると同時に大きな刺激を受けてきました。

世田谷区立駒沢小学校で「きこえとことばの教室」担当をしている阿部厚仁先生からは、ことばの教室担当教員の心構えを伺いました。“専門性のスタートは、子どもとかかわるところから”“子どもと同じ楽しみを共有できる存在になっているか”と話しておられました。

先日、ある子どもと指導の中で簡単なボードゲームをしました。2回対戦し2回とも私が勝ちましたが「おもしろい！」と繰り返し言っていました。その子が放課後、友達数人と一緒にことばの教室を訪れ、またそのゲームを一緒にやろうと言うのです。友達の方は他の遊びをし、私たちはまた対戦を楽しみました。研修会での阿部先生の話思い出し、自分も少しは子どもと同じ楽しみを共有できたかなと嬉しい気持ちになれた出来事でした。

(金子)



## お知らせ



### 子育てワンポイントアドバイス



子育てを応援してくれるサイトです。

『言の葉通信』ことばの遅い子を育てる親のための応援サークル  
(<http://www.e-baby.co.jp/circle/kotonoha/>)

『発達障害とことばの相談』子育てのヒントがたくさん！  
(<http://bp.shogakukan.co.jp/n-nakagawa/>)

## 親の会 コーナー

### 40周年記念式典・記念講演会終わる

10月17日に行われた、佐渡ことば・こころの教室開設40周年記念式典・記念講演会では、400名に近い参加をいただき、盛会のうちに終わることができました。



準備期間から当日に至るまで、御協力いただいた関係の皆様、親の会会員および親の会OBの皆様、御礼申し上げます。

中川信子先生の講演は、親として、また指導者として自分の子育てや指導を振り返るよい契機となった方も多かったのではないのでしょうか。参加してくださった親の会会員、親の会OBの方の感想を紹介します。

- ◇ 40周年は、手伝いの段階から楽しかったです。講演も、「うんうん 納得！」という感じで聞きました。子ども抜きで参加するのもたまにはいいなあ。自分への御褒美の時間でした。
- ◇ これからは、子どもに優しく接することができそうです。「名前は歌うように」呼んでみます。今日は来てよかったです。
- ◇ 「いつもの生活が一番」「大切なのは、伝えたい気持ちを育てること」など、‘目からウロコ’でした。
- ◇ 望ましい育て方は人類共通！ 当たり前のことかもしれませんが、障害のある子どもの親には力強いことばでした。
- ◇ 自分の子どもは成人になってしまいましたが、「ああ、そうだったな」と子育てのころを思い出しながら聞きました。
- ◇ 「ダメ」の回数が増えつつあるこのごろですが、子どもが素直に育つように、減らしていきたいと思いました。

